



ACROSS LETTER

www.across21c.co.jp

夏ビール爽快号
Vol.34
July.2024

梅雨が短く、今年の夏も猛暑になりそうです。
皆さまと株式会社アクロスをつなぐコミュニケーションマガジン
「ACROSS LETTER 第34号」をお届けします。
今号は、猛暑の夏に用心しなければならない**熱中症対策と人材不足解消のための外国人材**について書かせて
いただきました。次号は秋号（10月）の予定です。



最近の大規模修繕工事事情

建設分野での外国人材について

〈中井〉

大規模修繕工事の現場でも外国人の職人が見受けられるようになりました。日本国内では、建設業の技能者のうち、**60歳以上の割合が約4分の1を占める一方、29歳以下は全体の約12%**となっています。この現状から今後も外国人の職人は増加していくと考えられますので、皆様にいまの事実を知っていただきたい国土交通省の情報をお届けします。

建設分野における外国人材の受け入れ状況

- 建設分野で活躍する外国人の数は約11万人で、全産業の約6.4%
- 在留資格別では技能実習生が最多（2022年：約7万人）※ただし、実習制度であり就労制度ではない
- 特定技能外国人は、水際措置の緩和や制度の周知に伴い、人数は増加中
- 2022年4月に、2号特定技能外国人が建設分野において初認定（26人：2023年10月末現在）

特定技能制度における外国人材のキャリアパス（イメージ）

特定技能とは、人手不足が深刻化する特定産業分野において外国人材の就労を認める在留資格です。これに関する制度を「特定技能制度」と言います。



特定技能1号 在留期間は通算5年 ※家族の帯同は原則不可

「試験合格」ルート1と「技能実習等からの切替」ルート2の2パターンが存在。

ルート1 ①と②の両方に合格 ※①・②の試験は海外を基本に国内でも実施

- ①技能評価試験「技能検定3級」又は「建設分野特定技能1号評価試験」
- ②日本語試験「国際交流基金日本語基礎テスト」又は「日本語能力試験（N4以上）」

ルート2 技能実習を修了したものと特定活動からの切替

特定技能2号 在留期間の更新上限なし ※家族の帯同可能

班長として一定の実務経験等が必要。

参考サイト：国土交通省 「建設分野における外国人材の受け入れ」

https://www.mlit.go.jp/tochi_fudousan_kensetsugyo/content/001499397.pdf



熱中症対策は必須

（吉田）

「熱中症」は、高温多湿な環境下において、体内的水分及び塩分（ナトリウムなど）のバランスが崩れたり、体内の調整機能が破綻するなどして発症する障害の総称です。

その症状は、めまい・失神、筋肉痛・筋肉の硬直、大量の発汗、頭痛・気分の不快・吐き気・嘔吐・倦怠感・虚脱感、意識障害・痙攣・手足の運動障害、高体温等が現れます。

厚生労働省の平成27年のデータによると建設種別に見ると**建設業が熱中症による死亡者の割合が多くなっています。**

このような状況を踏まえ、国土交通省発注工事では、従来「イメージアップ経費」として計上していた費用について、「**現場環境改善費**」と名称を改め、最新の実績データに基づき経费率を見直すとともに、**安全関係の計上項目として熱中症予防が含まれることを明記しています。**



工事における注意点

- 休憩場所には**冷房の設置**。
- 管理組合様への事前の承認を頂いた上で自販機の設置、**水分・塩分の摂取**。
- 自覚症状以上に脱水状態が進行していることもあるので、自覚症状の有無にかかわらず、**作業前後の水分の摂取**及び**作業中の定期的な摂取**を指導。
- 熱中症予防には、熱を吸収しやすい服装は避け、透湿性及び通気性の良い服装を着用することが望ましいとされていますが、建設現場では、安全衛生上から長袖の作業服やヘルメットや安全チョッキを着用するため、通気性が劣る服装となることが多い。そのため、**通気性を確保したヘルメットや作業服**、熱を吸収しにくい安全チョッキなどが開発されています。

（株）アクロスでも社員全員に空調服を支給し、水分補給をこまめにとることを勧めています。



参考サイト：国土交通省 「建設現場における熱中症対策事例集」

<https://www.mlit.go.jp/tec/seisan/sekou/pdf/290331jireisuu.pdf>

あとがき

これから暑い日が続きそうです。水分補給等をして熱中症に気をつけましょう。また弊社での外国人の採用の機会はまだありませんが、弊社も求人広告を出しておらず、今後新しく入社する予定の社員もいるため、これからもご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

ACROSS LETTER発行人 中井、吉田

